

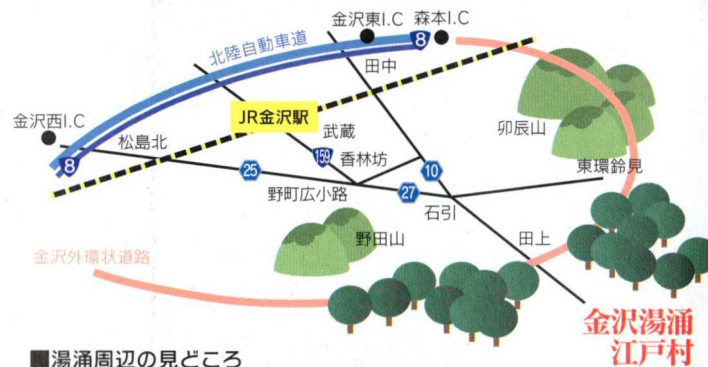
加賀百万石の名残りを今に伝える。

江戸時代は、日本の封建制がもっとも強化された時代で、徳川幕府の下に大名が全国を支配していました。一方で、250年を超す平和な時代は世界史的にみてもきわめて貴重で、各藩は商工業を発展させ、それぞれ独自の地方文化の黄金時代を現出しました。学問や科学も発達し、庶民文化の花も開いた時期で、今日、日本的といわれるものが、庶民の生活にまで定着していったのも江戸時代でした。そして、金沢を中心とする加賀藩は、この江戸時代最大の藩で、加賀・能登・越中(石川・富山両県)にひろがった加賀百万石の文化や生活は、江戸(東京)とならんで、この時代を代表するものでした。

江戸時代の加賀藩を中心とした民家をひろく集め、移築して展示公開してきた「旧江戸村」の閉鎖にともない、この民間施設を引き継いだ金沢市は、文化財保存上、より適した当地への再移築に2003年より着手しました。そして2010年9月、農家3棟、武士住宅1棟、商家2棟、宿場問屋1棟、武家門1棟、総計8棟の移築が完了し、「金沢湯涌江戸村」開設の運びとなりました。



文：金沢湯涌江戸村村長 土屋敦夫氏



湯涌周辺の見どころ



●金沢湯涌夢二館

竹久夢二と恋人・彦乃が大正6年8月から滞在した湯涌での3週間は、人目を気にすることもなく過ごせた、尊い時間だったといえます。心が解き放たれたような中で、夢二は彦乃に対する想いをたくさん作品に残しています。



●玉泉湖

玉泉湖は、湯涌温泉街の奥にあるムードのある湖。ぐるりと周りを歩いて約5分。温泉の後のほてった体の湯冷ましにちょうど良い。湖畔には夏まで雪を貯蔵しておく氷室小屋があり、冬の間に詰めた雪は6月30日の「氷室の日」に取り出されます。



●金沢湯涌創作の森

湯涌の豊かな自然に包まれた公営の工房・研修・宿泊施設です。藍染めや織り、シルクスクリーンや銅版画の体験メニュー(90分程度：要予約)を揃えています。泊まり込みの自然体験や創作活動も可能です。

ACCESS

■マイカーにて北陸自動車道インターより／施設内駐車場あり

- 金沢森本I.Cから／車→約30分 ●金沢東I.Cから／車→約40分
- 金沢西I.Cから／車→約50分

■JR利用／●JR金沢駅から／タクシー→約30分

- JR金沢駅から／バス→約45分
(東口3番バス乗り場より「湯涌温泉」で下車)

■開園時間／午前9:00～午後5:30

■休 園 日／毎週火曜日(火曜日が休日の場合その次の平日)

- ※1月1日～3日は曜日に関係なく開園

■入 園 料／●一般／300円 ●団体(20人以上)／250円

- 65歳以上／200円 ●高校生以下／無料

■音声ガイド／金沢湯涌江戸村と周辺の湯涌エリアの施設・見どころについても音声による解説をお聴きになれます。

■貸館のご案内

旧平家、旧高田家、旧野本家、旧松下家、旧永井家、旧石倉家、旧山川家は展示会等の文化活動の場としてご利用いただけます。料金等につきましては金沢湯涌江戸村までお問い合わせください。



金沢湯涌江戸村

Kanazawa Yuwaku Edomura

〒920-1122 石川県金沢市湯涌荒屋町35番地1
TEL:076-235-1267 FAX:076-235-1269
<http://www.kanazawa-museum.jp/edomura/>

施設案内



金沢湯涌江戸村

Kanazawa Yuwaku Edomura



金沢湯涌江戸村

Kanazawa Yuwaku Edomura



旧永井家／市指定有形文化財。江戸末期に足輕居住区(現在の菊川2丁目)にあった住宅。大正から昭和にかけて政界で活躍した永井柳太郎の生家です。当初の痕跡が部分的に失われていたため、類型調査等を踏まえた上で復原されました。

旧山川家／県指定有形文化財。山川家は現在の金沢市堅町で米仲買や酒造業を営み、江戸時代から明治・大正にかけて繁栄した商家です。板葺石置屋根や底下のサガリや、竹のスミシコなど、金沢の町家の古い表構えがみられます。



旧石倉家／国指定重要文化財。福井県南越前町鯖波にあった住宅。石倉家は代々村内の要職をつとめた家柄で、鯖波宿の本陣として休憩・宿泊所に使われました。外観は寺の庫裏を思わせるそりのある切妻となっています。



旧松下家／国指定重要文化財。金沢市旧泉新町にあった商家。表はすべて蔀戸(しとみど)で、店を開いている時は引き上げられ全面開放されます。素朴な造りが特徴です。



旧多賀家表門／金沢市兼六元町にあった、上級武士の表門。表門と仲間部屋の2棟と両脇の土塀からなり、人持組五千石を動めた往時の姿を残します。土塀は伝統的な工法である「版築」で復原しています。



旧野本家／市指定有形文化財。能登旧柳田村にあった農家。野本家は代々肝煎で、入口をはいた所は御白洲(おしろす)として広い土間二ツがあり、上層農民の生活がうかがえます。



旧高田家／県指定有形文化財。金沢市湯涌河内町にあった江戸期の本百姓の家。土間二ツには、馬屋がついています。



旧平家／県指定有形文化財。能登旧柳田村にあった農家。内法(うちのり)高が低く、寝間に「納戸構え」があり、全体的に閉鎖的で、古い形式を残しています。

